

平成23年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

平成 23年 3月18日
(社)日本アルミニウム合金協会

平成22年度の日本経済は、平成21年春以降の世界経済の回復やエコカー補助金・家電エコポイント制度など消費を喚起する政策の効果により持ち直してきたが、今年秋以降は円高による輸出の鈍化や景気対策の終了による消費の反動減を受けて、景気は足踏み状態に入った。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、エコカー補助金による国内自動車市場の回復や輸出の伸び等で主要需要先である自動車業界の生産が堅調に推移したことにより、主力の鋳物・ダイカスト向け需要が前年度比プラスとなったほか、圧延・鉄鋼向け需要など全ての部門においてプラスを示したことから、平成22年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,543,400トン(対前年度比109.8%)が見込まれる。

このような状況の中で、平成23年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内自動車需要の冷え込みや為替の動向等が懸念されるものの、北米や中国に加え、東南アジア諸国向けの四輪完成車・四輪海外生産用部品輸出が引き続き堅調に推移することが期待されるため、プラス成長が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、圧延品需要において建材向けの回復や輸出の伸びが期待されるため、プラス成長が見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度並みと予想されるため、微増が見込まれる。

以上の状況から平成23年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、2年連続のプラス成長となる1,573,600トン(対前年度比102.0%)と策定した。

また、平成23年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、228,700トン(対前年度比102.5%)が予想される。

**注：本需要見通しは、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震前に策定したもので、
地震の影響は加味しておりませんのでご注意ください。**

平成 23 年 度

アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

注：本需要見通しは、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震前に策定したもので、
地震の影響は加味しておりませんのでご注意ください。

平成 23 年 3 月 1 8 日

(社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項 目	平成 21 年度	平成 22 年度実績		平成 23 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	275,899	296,600	107.5	304,800	102.8
ダ イ カ ス ト	819,721	918,700	112.1	937,300	102.0
圧 延	195,886	201,000	102.6	204,000	101.5
鉄 鋼・そ の 他	114,100	127,100	111.4	127,500	100.3
計	1,405,606	1,543,400	109.8	1,573,600	102.0

注1) 輸入地金を含む。

注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

平成 23 年 度

鑄物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項 目	平成 21 年度	平成 22 年度実績		平成 23 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	143,398	163,500	114.0	167,100	102.2
ダ イ カ ス ト	65,069	69,300	106.5	71,600	103.3
計	208,467	232,800	111.7	238,700	102.5

注1) 輸入地金を含む。